



USBメモリの音楽ライブラリも高品位再生 ハイファイ直系の本格オールインワンシステム

New FR Series

FRシリーズは、コンパクトなオールインワンシステムの先駆けとして1998年に誕生。本格的な単品オーディオの設計手法を投入し、操作性を重視したシンプルなデザインや発展性にもこだわるロングライフ設計が高く評価され、世代を越えて長く親しまれております。10世代目を迎えたニューモデルは、新たにUSB端子を搭載。USBメモリにストックされた音楽ライブラリも本格サウンドで再生し、多彩なオプションやマルチメディアに対応するプレミアムなインターフェースをさらに高品位なものに押し上げました。音質面でもセンター部の開発において、回路レイアウトや内部パーツの最適化を徹底。前モデルよりさらに広い音場感、奥行き感がイメージできるようになり、音楽の躍動感を大幅に向上させることに成功しています。音楽CDはもちろん、懐かしいMDや最新のデジタルメディアまで、さまざまなメディアに収録された大切な音楽をピュアなサウンドで楽しみたい方へ提案する、ロングライフ仕様のオールインワンシステムです。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND

ONKYO[®]

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 マーケティング部 山本誓一 TEL.072-831-8005
写真画像はこちらから www.jp.onkyo.com/ の「New Products」より当製品をクリックください
掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



X-N7FX

CD/MDチューナーアンプシステム

オープン価格 9月12日発売予定

- 単独で使用しても高い実力を発揮するセンター部とスピーカーを組み合わせた、FRスタンダードモデル
- USB端子を搭載。USBメモリにストックされた音楽ライブラリの高品位再生を実現
- 本格的な単品アンプと同じ設計手法を導入。一般的なセットコンポとは一線を画すディスクリート構成アンプ
- 回路レイアウトや内部パーツを最適化。音の純度を高めたカスタムコンデンサを採用
- 共振に強いシャーシ構造や剛性の高いアルミフロントパネルを採用。微小な音楽情報の表現力を向上
- WMA、MP3ファイルで記録されたCD-R/RWの再生にも対応
- 躍動感ある低音再生「13cm A-OMFモノコックウーファー」&超高域再生「3cmリングツイーター」
- 高品位な低音増強を可能にするバスレフ技術「AERO ACOUSTIC DRIVE」

定格出力	15W+15W(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下)
実用最大出力	20W+20W(4Ω、JEITA)
スピーカー	ウーファー:13cm A-OMFモノコックコーン ツィーター:3cmリング
USB端子	1(再生:MP3/WMA、録音:MP3)
音声入出力端子	入力:デジタル1、アナログ2、ステレオミニ1 出力:アナログ1、サブウーファープリ1
最大外形寸法	本体部:W215×H142×D349mm スピーカー部:W164×H282×D258mm
質量	本体部:5.1kg スピーカー部:3.7kg(1台)
付属品	リモコン、スピーカーケーブル×2、コルクスペーサー×8



X-N9FX

CD/MDチューナーアンプシステム

オープン価格 9月19日発売予定

- X-N7FXをベースに、リアルウッド突き板仕上げなど特別仕様を施した上位モデル
- USB端子を搭載。USBメモリにストックされた音楽ライブラリの高品位再生を実現
- 単品アンプと同じ設計手法「ディスクリット構成アンプ」、音の純度を高めたカスタムコンデンサを採用
- 共振に強いシャーシ構造、フロントパネルとボリュームつまみにアルミニウム素材を採用し、制振性を強化
- WMA、MP3ファイルで記録されたCD-R/RWの再生にも対応
- 躍動感ある低音再生「13cm A-OMFモノコックウーファー」&超高域再生「3cmリングツイーター」
- バスレフダクトをキャビネットから分離。よりクリアな低音再生を実現する「アドバンスドAERO ACOUSTIC DRIVE」
- 太いスピーカーケーブルもしっかりとホールドするネジ式ターミナルをセンター部、スピーカー部に採用

定格出力	19W+19W(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下)
実用最大出力	26W+26W(4Ω、JEITA)
スピーカー	ウーファー:13cm A-OMFモノコックコーン ツィーター:3cmリング
USB端子	1(再生:MP3/WMA、録音:MP3)
音声入出力端子	入力:デジタル1、アナログ2、ステレオミニ1 出力:デジタル1、アナログ1、サブウーファープリ1
最大外形寸法	本体部:W215×H142×D349mm スピーカー部:W167×H299×D260mm
質量	本体部:5.2kg スピーカー部:4.1kg(1台)
付属品	リモコン、スピーカーケーブル×2、コルクスペーサー×8

主なテクノロジー

USBメモリの音楽ライブラリも高品位再生

10世代目を迎えたニューモデルは、新たにUSB端子を搭載しました。WMAやMP3の音楽ファイルを記録したUSBメモリを接続し、リモコンのUSBプレイボタンを押せば単品設計の本格サウンドで再生。FR本体がスタンバイ状態のときでも自動的に本体の電源が入り、USB再生がスタートします。また音楽CDやMD、チューナーからUSBメモリへ録音したり、音楽CDからはMD/USBメモリへ同時に録音することもできます。

FRシリーズは外部機器と接続できる入出力端子も豊富に装備し、多彩なオプションやマルチメディアに対応するプレミアムなインターフェースを実現しています。そしてあらゆるメディアに含まれた大切な音楽を上質のサウンドで再現することをつねに考え、世代を重ねるごとにオーディオ品質を高めています。



本格アンプの設計手法「ディスクリット構成アンプ」

アンプ部には、本格的な単品アンプで採用されるディスクリット構成アンプを搭載しています。一般的なセットコンポで見られる既製のICチップは用いずに、トランジスタやコンデンサなど個別の電子部品を用いて増幅回路を設計。ヒアリングを繰り返しながらパーツを吟味し、求めるアンプ性能を実現するという高度な設計手法を採用しています。さらに新FRシリーズでは、電子部品や回路レイアウトの最適化を徹底しました。イギリスの有力誌で高い評価を得たコンパクトオーディオと共通設計のアンプ基板を採用し、音質を左右するコンデンサには細部の形状まで練りこまれたカスタムタイプを採用。音の純度を高め、演奏者や歌い手がこめた細やかなニュアンスまで正確に再現します。



主なテクノロジー

振動板素材から設計する本格スピーカーユニット

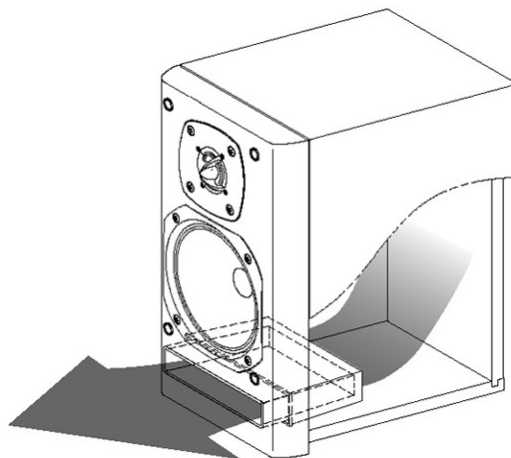
オンキヨーは、スピーカーの心臓部と言われるスピーカーユニットを振動板の素材開発から行い、こうして生み出されたウーファーやツイーターをはじめとする本格スピーカー技術を各製品へ投入しています。

FRシリーズのウーファーユニットに採用するA-OMFモノコック振動板は、センターキャップをなくして一体成型する高度な製法により、軽量化と剛性を高めることを両立。音の濁りに結びつく分割振動を抑えて質感のある豊かな低音再生を実現します。またツイーターユニットには、リング型のツイーターを採用しています。振動板の中央部を駆動ポイントとするバランスドライブ構造により、20kHz周辺においてもスムーズな駆動を実現。分割振動を低減し、ヴォーカル帯域での表現力を大幅に向上しています。



高品位な低音増強を可能にするバスレフ技術

バスレフはキャビネット内で発生した空気振動エネルギーを放出して、低音再生を増強する技術です。一般的に採用される丸型円筒ダクトの形状ではキャビネット内部で発生したノイズを放出しやすいため、微細なニュアンスの表現力が欠けた低音再生になりがちでした。スピーカーシステムのバスレフダクトには、独自のスリット形状と構造を採用したトップレベル技術「AERO ACOUSTIC DRIVE」を採用。ノイズの発生を防ぎ小音量でも質感を伴う豊かな低音を再生します。



特別仕様を採用した上位モデル「X-N9FX」

X-N9FXは、X-N7FXをベースにさまざまな特別仕様を施したFRシリーズ上位モデルです。スピーカーキャビネットには高級感あふれるリアルウッド(天然木)による突き板仕上げを採用。幾度も塗装を重ねたあと、ひとつひとつ手作業の工程で仕上げられ、まさに工芸品のような美しい光沢とやわらかな音質を実現しています。

さらにスピーカーのバスレフダクトは、キャビネットと分割した構造を採用する「アドバンスドAERO ACOUSTIC DRIVE」を投入。バスレフダクトとキャビネットのお互いの振動の影響を抑えてノイズ放射をさらに低減、より豊かでクリアな低音再生を実現します。

